

私たちにできること

山口県山口市立小郡中学校 3年 村上 碧衣



「非行少年」、そうきくと誰もがマイナスイメージをもつと思います。
非行少年とは未成年で罪を犯した人のことをいいます。
もちろん罪を犯すことは年齢関係なくいけないことです。
しかし、非行少年も苦しんでいることを知り、そのことを忘れてはいけません。

まず、未成年の犯した事件で多いものを紹介したいと思います。
最も多かったのは、万引きや自転車を盗むなどの窃盗犯です。
そして2番目に多いのが暴行や傷害などの粗暴犯です。
このようなことをしてしまう人は、親などから虐待をされていたり、経済的に苦しい状況にある人が多いようです。

そして、事件を犯す年齢で多いのが16歳でした。
他にも15歳や14歳など私たちと同じ中学生もいます。
非行少年となってしまう人はまわりの環境が悪く、自分でもしっかり考えて行動できる年齢でも多いことがわかります。

私が「非行少年」について調べたとき、一番最初に出てきたのは、非行少年はケーキを三等分することができないそうです。

それは、世の中がゆがんで見えているからだそうです。
非行少年の特徴は中高生にしては認知機能が弱かったり、融通が利かなかつたり、対人スキルが低いというところだそうです。

中高生だけど、中身は小学生と同じということです。
そんな非行少年を減らすために日本では今どのような対策をしているのでしょうか。

最近インターネット上でのトラブルが多く、警察はサイバーパトロールという違反情報などを発見し、子供がトラブルに巻き込まれないようにしているそうです。

他にも悩みを相談できる場所もあります。
国ではそのような活動をしています、一番大事なものは、身近にいる大人や友達がどのように接するかだと思います。

そこでまず、大人へお願いです。
今でも様々な取り組みがあるけど無くなるならない虐待です。
虐待によって亡くなってしまったり、精神的にきつくなった子供はたくさんいます。

それが無ければ絶対に犯罪を犯さないというわけではありませんし、虐待をされていなくても犯罪を犯してしまう人だっていると思います。

しかし、1つでも非行少年となる可能性を無くしてほしいです。

そして、中高生ということは、学校での友達も関わっていることがあると思います。

そのため、中学生である私たちにもできることがあると思います。

私たちが何をすべきか考えてみました。

それは、友達が傷つくことを言ったりしないことです。

とても簡単に思う人がいるかもしれませんが、ずっと無くならないいいじめもこのことが原因です。

とても仲の良い人で冗談のつもりで言ったとしても傷ついているかもしれません。

相手が笑っている、おもしろがっているから暴言を言ってもいいは違います。

相手の気持ちをわかっているつもりで傷つけようと思ったわけではなくても相手がいじめられたと思い、精神的にきつくなってしまうです。

そして、非行少年となってしまうかもしれません。

自分のまわりにはいないという人が多いと思います。

しかし、誰が非行少年になってしまうかはわかりません。

もしかしたら自分になってしまうかもしれません。

それは本人にもわからないことです。

でも、例えば今大きな悩みがあるけど相談できていない人、そして今大きな悩みがない人でもこれから何があるかわかりません。

悩みがなさそうな人でも誰にも言えず隠している人もいるかもしれません。

誰にも相談できない人は信頼できる人がいなかったり、いても心配をかけたくないと思っている人が多いと思います。

私は相談してもらえそうな人になりたいです。

非行少年へ自分は親から愛されているかというアンケート結果は一般少年よりも少なく家の中で親が暴力を振るうというのは多かったです。

実際にこのような結果があるので大人から離れ、自分をわかってくれる人なら不良といっしょにいて窃盗を犯す人もいるみたいです。

非行少年は確かに悪いものかもしれません。

しかし、そうになってしまう人にも様々な理由があります。

私たちには想像できないような環境で育ってきた人がいるということを知っておく必要があります。

それを知れば非行少年だけが悪いという考えがなくなるのではないかと思います。

悪い部分を見るのではなく、自分でもいろいろ調べて自分にできることを考えてみてください。

まだ中学生で大きなことはできないと思っている人でも、悩んでいる友達を助けることは小さなことのように大きなことです。

もし自分で小さなことだなと思うことでも人のためになると思うのならしてみてください。